

### ●武内隆之氏の経歴

1988年TDK㈱に入社し、フェライト事業部に配属後2015年までモノづくり現場の生産管理部門に勤務。2016年にTDK歴史みらい館配転後、2021年館長に就任。

未来を担う子供たちとの共育活動を通じて、TDKの原点であるフェライトを伝承しながら、エレクトロニクスの魅力を発信している。



▲与五郎博士の研究室（東京工業大学1933年頃）

ギを通じて知り合った、当時日本を代表する企業であった鐘紡㈱の津田信吾社長から何とか出資を取り付け、フェライトの事業化を目的とする会社を起業しました。加藤先生の東京工業大学電気化学科にちなみ、「東京電気化学工業株式会社」（後にTDK㈱と改称）と命名されました。ベンチャー企業の誕生です。1935年12月7日のことでした。

用途も定かでないフェライトという材料での事業は多難続き。1947年のGHQによるラジオのスーパーヘテロダイン方式への変更を契機に、ようやく需要が拡大しました。

そして、二代目社長に加藤先生門下の山崎貞一が就任しました。

TDKの社是は、「創造によって文化、産業に貢献する」です。フェライトから出発し、磁気テープ・積層部品・磁気ヘッドと発展を遂げ、さらにセンサ、二次電池と拡大しています。

2019年7月にはベンチャー企業に投資を行う新会社「TDK Ventures Inc.」が設立されました。

今度は未来を背負うベンチャーを育む役割も果たそうとしています。加藤先生の創造の精神は続いて行きます。

フェライトという製品だけでなく、与五郎博士が重視していた「創造の精神」も引き継がれ、発展しているんだね。

フェライトからはじまる磁性を扱う技術が、私たちの暮らしにどうつながっているのかTDK歴史みらい館HPでもわかるよ。



HP

